



志士

ご挨拶

柔らかな春の日差しが心地よく感じる季節を迎えております。

皆様方にはますますご盛栄のことと存じます。日頃より、射水市の住み良いより良いまちづくりにお力添えを賜りますとともに、私の政治活動に対しましてもご支援ご協力を賜っておりますこと、心から深く感謝を申し上げます。

皆様方からのご支援ご指導をいただきながら、昨年11月より4期目の任期をスタートさせていただいております。市民の負託に応えるべく、その責任の重さを改めて強く感じながら、コロナ対策、予算編成、ポストコロナを見据えたまちづくりと全力で取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、オミクロン株の影響により、市内においても感染が急拡大しております。こうした中、市医師会及び医療機関と連携を図りながら、3回目ワクチン接種の促進、5歳から11歳の小児へのワクチン接種の体制構築を図るなど、接種を希望する方が迅速に確実に接種を受けることができるように取り組んで参ります。皆様方におかれましても、引き続き、マスクの着用、手指消毒といった基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

令和4年度予算については、厳しい財政状況の中ではありますが、射水市の今後の成長につながる事業に積極的に予算を配分し、結果、予算規模は一般会計で382億5000万円と

なりました。令和4年度においては、特に、DXの推進に力を入れていくこととしており、電子自治会アプリの導入や、自動運転課題調査事業、生活習慣病に対するオンライン健康相談などに取り組むこととしております。その他、女性活躍の推進や、子ども医療費助成の対象を18歳まで拡大することに加え、市内企業のDX化の促進や農業・漁業への支援、新湊大橋開通10周年記念事業など、地域活性化・魅力向上につながる事業にも取り組んで参ります。コロナ禍の中、様々な困難に直面することもあろうかと思いますが、市民一丸となつてコロナ禍を乗り越え、ポストコロナの時代においても射水市が力強く成長していくことが出来るように、未来世代から選ばれる射水のまちづくりに全力で取り組んで参る所存であります。

皆様方には、今後とも、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご活躍とご家族そろつてのご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

射水市長

夏野元志



いみず志士の会



会長

牧田 和樹

わが国の教育の普及は、鎌倉時代に武士階級の子弟が寺に預けられ、四書五経など東洋の古典を学んだことにはじまります。それが後に藩校や寺子屋に進展し広く市井に浸透しました。それ故、共通の古典を介することで道徳的規範が根付く礎となり、同じ道徳観を持つているという信頼感が社会形成を担保してきました。しかしながら敗戦を機に古典が消え、多様な価値観というお題目の下、衆愚政治による誤った民主主義社会へと成り下がってしまいました。

昨年11月、無競争で夏野市政の4期目がスタートしましたが、ポピュリズムにおいて無競争であったということは何を意味するのでしょうか。論語に「遠き慮りなければ必ず近き憂いあり」とありますが、夏野市長には射水市民のウェルビーイング実現に向け、憂いを残さない大胆かつ思慮深い政治手腕に大いに期待するところです。

その為にも当会では後援活動を財政面で支えてまいりますので、皆様の更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

このまちに住んで良かった、
住み続けたい

と市民の皆様
思っていただけで

なつの元志は **挑み** 続けます!



未来世代に
選ばれるまち射水を実現します

たけのこ20周年記念
取手H&M

2021年11月7日
射水市長選挙告示



夏野市政
4期目
スタート



新たな
まちづくりを
つづけていきます

